



広報

しんち

11

1993.No269

発行と編集／新地町役場・企画振興課（〒979-27 福島県相馬郡新地町谷地小屋字萩崎40 ☎0244(0)2111）



秋風にゆれて

相双地方防災訓練

■10月17日 新地地区



▲ 頭部裂傷のため応急手当を受ける住民



▲ 沢田統監（県相双行政事務所長）、荒町長らが訓練のようすを視察



▲ 家屋火災が発生し、水バケツリレーで消火



▲ 地区住民が負傷者となり、テントに運びこまれた



▲ 消火器を使い初期消火



▲ キビキビと訓練を行う消防団



▲ 役場に災害対策本部を設置



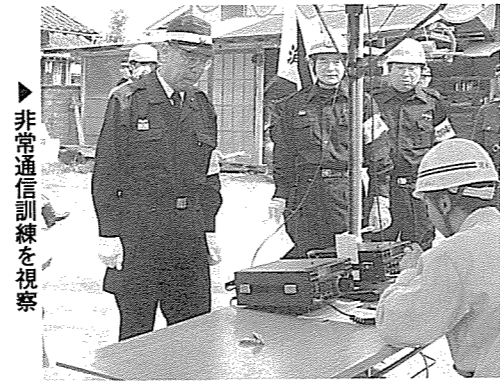
▲ 自衛隊のヘリで被害調査



▲ 消防団が積土のうによる水防活動



▶ 婦人消防隊が出動



▶ 非常通信訓練を視察

応急救護所も設置

地域住民ら活躍

確認しました。調査結果、訓練本部長が沢田統監に訓練開始を宣言。町広報車が隣組単位で指定場所に避難するよう呼びかけました。

沢田統監らは、歩いて防火訓練の視察に向かいました。

午前十時。海岸に津波が押し寄せ、砂子田川の水位が急激に上昇し、堤防が危ない。消防団員らが越水防止のため、積土のうにより水防活動を行いました。多くの住民が、橋の上から、キビキビと活動する団員を見守っていました。

釣師地区で負傷者が続出。朝日館駐車場に応急担架などで負傷者が運ばれ、応急処置を行いました。避難した住民は、消防署職員の指導で消火器や水バケツリレーで初期消火訓練を行いました。

小賀坂組駐車場でも、避難した住民により初期消火訓練が行われました。釣師地区の住民らが胸元に「呼吸心臓停止」「頭部裂傷」「左上腕骨折」などの札を下げ負傷者となり、続々とリヤカーや応急タンカなどで運び込まれました。

午前九時三十一分。役場内に災害対策本部を設置。荒町長ら四役、各課長が急ぎよ集合し、現地に向かいました。午前九時三十七分。「ウーウー、ピーポー、ピーポー」けたましいサイレンを鳴らしたパトカーや消防自動車、救急車が、街を疾走。埴浜の海浜運動公園に統監の沢田喜雄県相双行政事務所長が到着。

上空では自衛隊のヘリコプターが巡回しています。午前九時四十五分。地震により町内各地で家屋が倒壊し火災が発生、ケガ人も多数出ている模様。また、電力、電話、ガス、水道の施設も被害が甚大となりました。沢田統監や副統監の荒町長や佐々木相馬警察署長らがヘリコプターに乗り込み、上空から被害を

「ただ今、福島県に強い地震があり、沿岸に津波警報が発令されました」と、防災行政無線から町内一斉に放送が流れました。消防団職員に非常招集がかかりました。

これは十月十七日に行われた、新地町と県相双行政事務所主催による平成五年度の相双地方（新地地区）総合防災訓練です。県、町、相馬警察署、地区住民、町消防、陸上自衛隊関係者など約千四百人が参加し、埴浜、釣師、大戸浜、今泉地区で実施しました。その模様を追ってみました。

本番となりながらに防災訓練

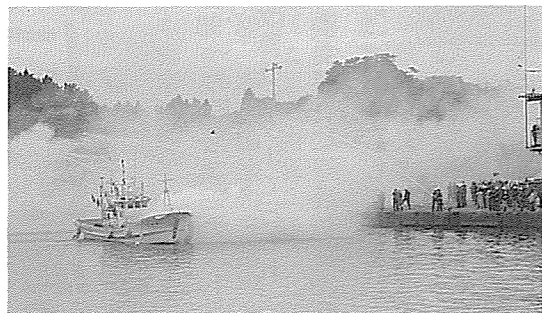
相双地方防災訓練

■10月17日 新地地区

心に『防災』の二文字を刻み…



▲自衛隊が給水車で給水



▲岸壁から漁船火災に一齐放水



▲只野訓練本部長が訓練終了を報告



▲漁協漁具倉庫前広場で電話復旧作業を見守る関係者や住民



▲レスキュー隊が炎上する車に高発泡で消火作業を行う



電話が復旧し、姉妹都市・伊達市と通話する荒町長



▲重傷患者をヘリで空輸



▲提防から見守る地区住民



▲500食の炊き出しを行った赤十字奉仕団ら



▲漁港前で記念パレード



▶沢田統監が「この訓練の成果を今後に生かしてほしい」と述べた

訓練の成果を生かそう

午前十一時四十七分。津波警報に伴い釣師漁港内にけい留している漁船が一齐に沖に避難。その間、一隻の漁船が火災となり、岸壁から消防団が一齐に放水を行い、全ての訓練を終了しました。

『災害は忘れたころに…』。もう一度、地震の怖さを家族みんなで話し合ってください。参加されたみなさん、ごくろうさまでした。

地震にかぎらず、車社会の今日、いつこのような事故に巻き込まれるかわからないだけに、参加者は真剣に見入っていました。

閉会式は、漁港前で開かれ沢田統監が「地域住民と関係者が一体となって、迅速、かつ的確な防災訓練でありました」と講評、続いて、荒町長が「これを契機に、より一層防災の充実を図っていきたい」とあいさつしました。

最後に参加者全員で漁港前を記念パレードしました。

この総合防災訓練が新地町で行われたのは、昭和六十一年以来七年ぶりです。北海道南西沖地震で甚大な被害を受けた奥尻島と同じ海に面した町、新地にとって他人事ではありません。

海に面した町だからこそ
災害の怖さを知ってほしい

迅速に情報伝達

午前十時。地震により電柱が倒壊し、通信が出来ない。アマチュア無線クラブ員らによる非常通信が始まりました。アマチュア無線や防災行政無線の携帯用無線をフルに活用し、冷静かつ的確に連絡や指示をしていました。新地火力発電所とも密に交信。沢田統監は予定時間がオーバーするほど、興味ぶかげに見つめていました。

午前十一時七分。漁協漁具倉庫前広場では、婦人消防隊、赤十字奉仕団らが、陸上自衛隊福島駐屯部隊の応援を受けて、おにぎり五百食を用意しました。また、水道が断水し、同部隊の給水車により飲料水を給水しました。

五百食炊き出し

午前十時四十三分。釣師、大戸浜の各所で火災が発生。延焼防止のため、村井水産前のT字路釣師橋では、婦人消防隊らが軽可搬ポンプで放水を行いました。

また、同広場で東北電力が高圧応急電源車による電力供給や電力施設などを、NITが電信電話施設の応急復旧作業を行いました。町給水工指定業者が寸断された水道施設を、相馬地区LPGガス保安協議会が、ガス漏洩による二次火災発生防止の応急復旧作業を行いました。

レスキュー隊出動

午前十一時五十七分。自衛隊のヘリコプターが釣師浜に到着。ヘリコプターで重傷患者を緊急に医療機関に運ぶ、空輸が行われました。

午前十一時三十八分。釣師浜漁港前で走行中の乗用車が地震のため運転を誤り、対向してきた乗用車と正面衝突。

最優秀賞に斎藤さん

(相馬市)

夏のイベント「遊海しんち'93」の写真コンテスト審査会が十月一日、農村環境改善センターで行われ、最優秀賞の遊海しんち'93実行委員長賞に斎藤誠さん(相馬市)の「夏絢爛(けんらん)」が入選しました。

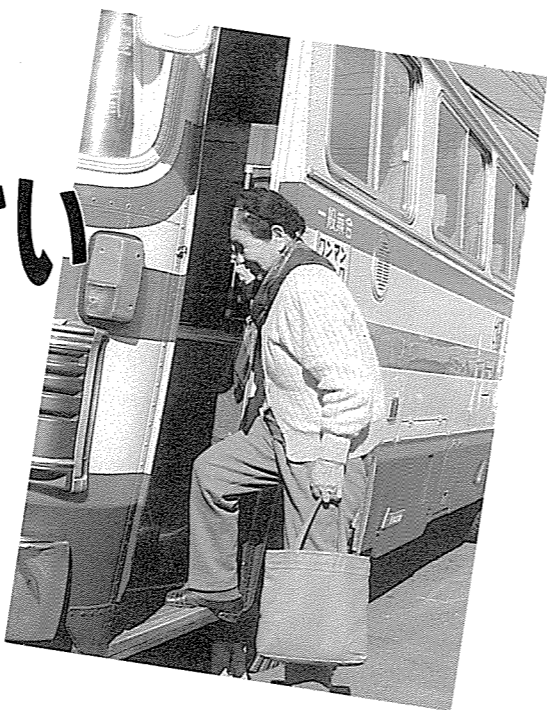


▶最優秀賞の「夏絢爛」

コンテストは同実行委員会、町観光協会の主催で、町内外二十四人から七十二点の応募がありました。作品は、地引き網、浜焼き、ビーチバレー、花火大会などいきいきとした高レベルの作品ぞろい。最優秀賞を受けた斎藤さんの作品は、花火大会を多重露出でとらえた技術が高く評価されました。

十一月十三日の『秋のふれあい祭』

路線バス維持のため もっと利用してください



お年寄りや学生など、バスを唯一の交通手段にしている方もまだまだ少なくありません。しかし、マイカー時代の今日、路線バスの乗車率はますます落ち込んでいます。

町内を走る福島交通の路線バスは、釣師浜線、上真弓線、鹿狼山線の三路線ありますが、それらは、いずれも赤字路線です。

路線バス確保のために
国・県・町が補助

このため、町では国・県と一体となって地域住民の足である路線バスの確保のため、バス事業者に多額の赤字補助

相馬=(新地)鹿狼山・上真弓・釣師浜		新地		上真弓		釣師浜	
乗車券	運賃	乗車券	運賃	乗車券	運賃	乗車券	運賃
724	730	740	747	750	750	750	750
754	800	810	817	820	820	820	820
959	1005	1015	1022	1030	1030	1030	1030
1154	1130	1144	1151	1207	1207	1207	1207
1224	1200	1210	1217	1233	1233	1233	1233
1324	1230	1240	1247	1254	1254	1254	1254
1424	1330	1340	1347	1403	1403	1403	1403
1629	1430	1440	1447	1607	1607	1607	1607
1714	1530	1544	1551	1708	1708	1708	1708
	1635	1645	1652	1753	1753	1753	1753
	1720	1730	1737				
	1800	1814	1821	1837	1837	1837	1837

を行っていません。町は今年度、年間約千六百万円の補助を行うこととなっています。

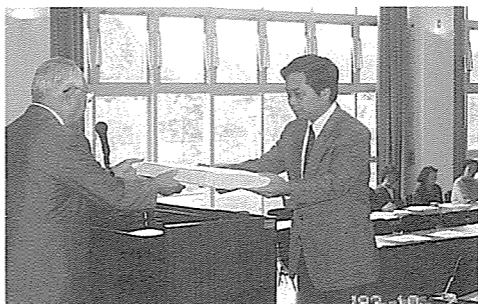
また、利用促進の啓発活動なども行っていますが、利用者のバス離れに、歯止めをかけるまでには至っていません。今年も十月一日のバスダイヤ

フリーバス 新地局前～鹿狼山入口間、夜場前～釣師浜間、塚木崎～上真弓間 ※日、祭日運休

町献血推進協議会が十月八日、農村環境改善センターで開かれ、優良献血者を表彰したほか、献血推進を誓い合いました。

町献血推進員、受賞者、来賓など約八十人が出席した同協議会では、町内で初めて献血百回を達成した大堀武さん(中島)に日本赤十字社長感謝状と銀色功労盾が贈られました。また、十回以上の献血者には荒町長、同協議会長連名の表彰状が手渡されました。

日赤献血功労者は次のとおりです。



▲町内で初めて献血100回を達成した大堀武さんに日赤献血功労を伝達

- 【受賞者】
- 日赤献血功労者
- ▽銀色功労盾
 - 大堀武(中島)
 - ▽金色有効章(五十回)
 - 西館智加男(城内)
 - 渡辺敏三(中島)
 - ▽銀色有効章(三十回)
 - 石田幸農夫(新地町)、菅野有(藤崎)、小賀坂廣征(釣師)、斎藤洋子(沢口)、畑中文良(富倉)

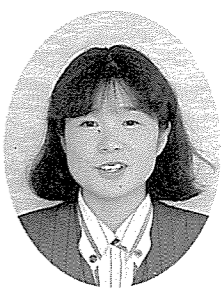
ヤ改正により、釣師浜線が二便減り、一日十三便(往復で二十六便)の運行となりました。路線バスを存続させていくためには、一人でも多くの方がバスを利用する以外に方法はありません。積極的にバスの利用をお願いします。

町献血推進協議会

大堀さんらに日赤献血功労

- ▽河北新報社賞Ⅱ「魚屋さん」
- 田崎英治(駒ヶ嶺西久保)
- ▽福島民報社賞Ⅱ「発電所と花火」高橋近(相馬市)
- ▽福島民友賞Ⅱ「捕れたぞ」中沢稔(宮城県亘理町)
- ▽佳作 今村正一(相馬市)、中沢稔(宮城県亘理町)、奥村辰雄(宮城県亘理町)、西谷波男(釣師)、黒須恒美(日立プラント建設株)、岡田慶子(岡)、早川賢輔(岡)、石田英男(新地町)、大山治(新地発電所建設所)、田崎英治(駒ヶ嶺西久保)

こんにちは保健婦です



畠山美雪保健婦

生活の中に運動を

運動不足による肥満や高血圧、高脂血症、糖尿病などの成人病の増加や、体力の低下は、健康づくりの上で大きな問題となっています。

厚生省は、今年の四月「健康づくりのための運動指針」をまとめたので、簡単に紹介したいと思います。

歩くことから始めよう

健康づくりのための運動は、息切れするようなものではなく、話をしながらでも楽にできる「はや歩き」のような運動をさします。はや歩きを続けると成人病の危険因子といわれる肥満、高血圧、高コレステロール、高血糖などを改善し、肩こりや腰痛、便秘な

どの訴えも少なくなるなどがわかっていきます。

一日30分を目標に

一日三十分、起きている時間の約三割、意識して身体を動かしましょう。運動は二三分したぐらいでは、エンジンが始動するだけで終わってしまいます。エンジンを始動させてから波にのるまで続けたいと運動効果は上がりにくいものです。最低、一日に三十分は動きたいものです。一度に三十分運動するのが無理なら何回かに分けてもかまいません。

また、一日の合計歩数は一万歩を目標にしましょう。

息がはずむ程度のスピードで

運動というと、激しければ激しいほど効果があがるように思われがちですが、強すぎれば心臓に大きな負担がかかります。血圧もあがります。さつさと歩くような、息がはずむ程度の運動、余裕をもってかなり楽だな、と感じるくらいが最も効果的です。

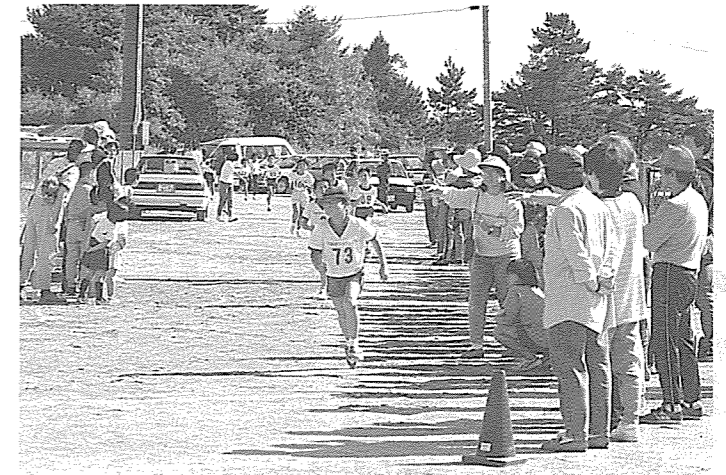
生活の中に運動を取り入れ、人生八十年時代をすこやかに生き生きと過ごしたいですね。

The Photo Scramble



公民館主催による国際交流ホームステイが10月23日、台湾、韓国、マレーシア、ペルー人など11人が来町し、町内の各家庭に宿泊、交流を深めました。

国際交流ホームステイ



220人が健脚競う 鹿狼マラソン大会

鹿狼マラソン大会が10月10日、町民グラウンドで行われ、小学生から一般まで約220人が参加しました。会場や沿道には大勢の町民らが声援を送っていました。

ザ・フォト・スクランブル

りんご狩りのつどいが、10月24日、南狼沢の畠栄七さんのりんご園で開かれ、親子連れなど約200人が参加しました。前日、ホームステイをしていた外国人も加わり、楽しく交流をしました。

りんご狩りのつどい



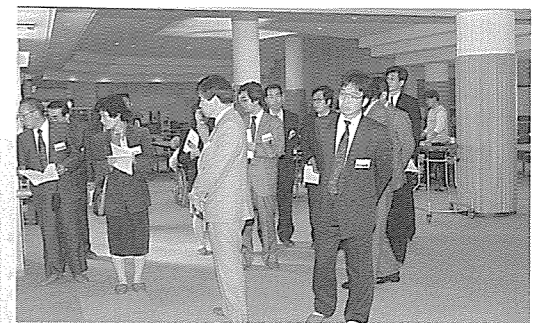
浜保育所で祖父母参観

浜保育所の祖父母参観が10月26日に行われ、祖父母42人が参観しました。工作やダンス、芋煮会などを子供たちと一緒に楽しみました。



町老人クラブがボランティア

町老人クラブ婦人部有志が、老人憩いの家で、友禅和紙を使ったリモン立てを、120個作りました。これは、歳末に一人暮らしや寝たきりのお年寄りの方に贈ることとしています。



伊達市職員 新地町研修

新地町と姉妹都市を結んでいる北海道・伊達市職員11人が、10月14日、新地町を研修に訪れ、懇談の後、特老ホームや新地小、新地火力などを視察しました。



秋の収穫

新地高校生(3年家政科)と新地保育所の児童87人が10月27日、同高校でサツマイモの収穫を行いました。自分たちが植えてきたイモとあって、土を掘っては大きな歓声を挙げていました。

新地高校生と
新地保の児童が



相馬郡 身体障害者のつどい

相馬郡身体障害者のつどいが、10月22日、農村環境改善センターで開かれ、郡内から約250人が参加しました。新地火力などを視察研修した後、会食や楽しく歌や踊りを演じ、親睦を深めました。



町民ゲートボール大会

町民ゲートボール大会が10月5日、公民館グラウンドで開かれ、約120人が参加し、熱戦を繰りひろげました。



わが家のアイドル

桜井桃子ちゃん
(11歳・明地)

新地町役場 / 〒979-27 福島県相馬郡新地町谷地小屋字萩崎40
TEL 0244 (62) 2111 ・ FAX 0244 (62) 3194

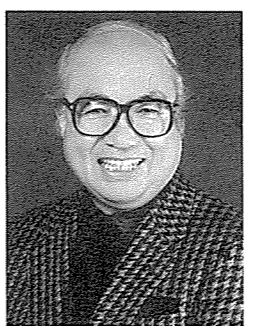
お知らせ

秋の3大イベント

第3回伊達開拓「ふるさと従兄弟サミット」

- とき 11月12日(金) 午後1時～午後4時40分
- ところ 農村環境改善センター
- 内容
 - ▽講演 「まちづくり新時代」 講師 福島大学教授 清水修二氏
 - ▽わがまちビデオ紹介
 - ▽パネルトーク
 - テーマ「特色あるまちづくりと地域活性化について」
 - ▽アトラクション
 - 民謡歌手 鈴木正夫氏
- ふるさと産品自慢市
 - 参加市町の特産品の販売をします。(数に限りがあります)
 - ▽11月12日(金) 正午～
 - 農村環境改善センター
 - ▽11月13日(土) 午前9時～
 - 新地小学校グラウンド
- 問合せ先 役場企画振興課 (☎2111)

第5回健康まつり



鈴木健二氏が講演

- とき 11月13日(土)～14日(日) 午前9時～午後3時
- ところ 農村環境改善センター
- ▽13日 健康ポスター展示、表彰式、講演会
- ▽14日 体力測定、健康クイズ、伝承遊びなど
- 講演
 - ▽演題 「暮らしの再発見」
 - ▽講師 鈴木健二熊本県立劇場館長
- 日時 11月13日(土) 午後1時30分～3時
- 場所 農村環境改善センター
- 問合せ先 役場保健環境課 (☎2111)

秋のふれあい祭

- とき 11月13日(土) 午前8時40分～午後3時
- ところ 新地小学校

内容

- 大いも煮会
- フリーマーケット
- 相馬地域開発パネル展
- ふるさと産品自慢市

— 1日商人大募集! —
フリーマーケット(13日)の出店者を募集します。家庭での不用品や手作り品など、町内の方なら個人・グループなど、どなたでも自由に即売できます。

《申込み・問合せ先》 役場産業課内 秋のふれあい祭実行委員会 (☎2111)へ

平成6年度

保育所入所申請のご案内



町では、日中仕事などで子供をみる事ができない親にかわり、満1歳(平成6年3月31日まで)に満1歳の幼児も含む)から就学前までの子供たちをお預かりしています。

入所を希望される方は、各保育所へ入所申請をしてください。申請用紙は、各保育所、役場窓口でお渡しします。(在所児については、児童に申請書をお渡します。)

●持参するもの

- ①保護者の認印②健康保険証(家族全員)③母子手帳④申請書

※申請当日は、お子さんの

●問合せ先 保育課(新地保

●定員・入所申請日時

保育所名	定員(人)	申請日	受付時間
新地	150	11月22日(月)	午前9時～午後4時
駒ヶ嶺	90	11月24日(水)	
浜	90	11月25日(木)	
福田	90	11月26日(金)	

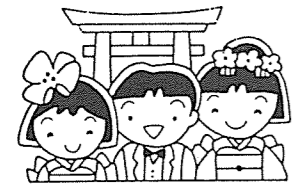
※申請日に都合の悪い方は、他の保育所の受付日に申請してください。

発育状況、家庭環境、家族の職業などをお聞きします。

●留意事項

- ①新地町の住民で、保育に欠ける児童であることが原則です。
- ②次に該当する方は申し出てください。
 - ▽戦傷病者、身体障害者、療育手帳などの交付を受けている方
 - ▽特別児童扶養手当など受給の方
- ③申請書には、民生(児童)委員の署名、捺印は必要ありません。

消息



9/21～10/20 届出

▷出生(届出は14日以内に) おめでとうございます。

(子供)	(親)	(地区)
湧太郎	森伯友	小川
湧紀	石田雅英	高田
湧伸	寺島一	大戸
湧平	荒良昭	小川
誠	小野茂夫	新地町

▷死亡(届出は7日以内に) おくやみ申し上げます。

(死者)	(年齢)	(地区)
折笠テル	69歳	小川
阿部守	80歳	新町
宍戸つめ	68歳	小川
齋藤二郎	68歳	小川
寺島恒雄	87歳	小川
鈴木正義	68歳	崎町
飯土井鶴吉	82歳	新埴
谷やい子	74歳	埴里
廣川みさ子	82歳	中釣
伊藤ナミ子	69歳	釣

※この欄に掲載を希望しない方は、届出のときに申し出てください。

ごみ

11月25日(木)は粗大ゴミ収集日

11月25日は、一般家庭粗大ゴミの収集日です。午前8時30分まで、集落名、氏名を明記して最寄りの収集所にお出しください。

●出せるもの
テレビ、冷蔵庫、洗濯機、自転車、かめ類、少量のトタン類(1ヶ所に折る)など

11月24日(水)・26日(金)は燃えるゴミの収集は行いません

11月24日から28日の間、ごみ焼却場の補修工事のため、24日(水)と26日(金)の燃えるごみの収集は行いませんので、ご注意ください。

住宅需要実態調査にご協力ください

住宅需要実態調査は住宅施策などの企画立案のための基礎資料調査です。
なお、期間中に調査員がお伺いしますので、ご協力をお願いいたします。

●実施期間 11月24日～12月7日
●問合せ先 役場建設課(☎2111)

町スキークラブ 会員募集

新地町スキークラブでは、今シーズンの会員を募集しています。今年からスキーを始めた方の方は新地公民館(☎2085)又は、事務局荒司(☎2382)まで、申込みください。

献血にご協力ください

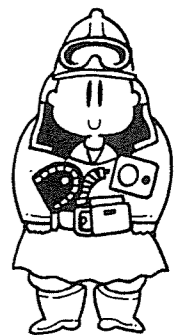
11月	時間	場所
13日(土)	午前10時～12時	農村環境改善センター
14日(日)	午後1時～4時	

※別途チラシなどによる13日の予定は、上記のように変更となりました。

防火運動にご協力ください

11月9日から15日までの一週間は、秋の火災予防運動期間です。この間、相馬消防署新地分署、消防団、婦人消防隊などが中心となり、一般家庭や一人暮らし老人家庭の防火診断、防火広報などを行いますのでご協力ください。火災予防に次のことを守りましょう。

- ① てんぷらを揚げるときは、その場を離れない。
② 寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。
③ 風の強いときは、たきびをしない。
④ 風呂の空だきをしない。
⑤ 子供には、マッチやライターで遊ばせない。
⑥ 家のまわりに燃えやすいものを置かない。
⑦ ストープには、燃えやすいものを近づけない。



全量集荷運動中

平成5年度産米
今年産米は(1等・2等・3等)全品種すべて自主流通米として集荷します。
他用途利用米について
冷害によって「特例的作況調整」が行われます。
決定までの間被害割合に応じての集荷として仮渡しを行っています。
仮渡し金額は政府買入価格で入金します。

平成6年作付け用たね糶確保について
全数量確保の見込みです。
ただし、一部の品種について不足があり希望品種が配布できない事もあり得ますので、ご理解ください。
※食管法によらないヤミ取引は厳しく罰せられます。
食料事務所・警察署などでキメ細かなパトロールがなされております。
役場産業課(☎2111)

11月9日は「119番の日」

119の通報要領
「火事」か「救急」かをはっきりと。
火事の場合は「何が燃えているか」、救急の場合は、「何がどうしたか」をわかりやすく。
その場所「新地町〇〇字〇〇番地」と、目標となるものを。
以上を、落ち着いて、ゆっくり、はっきりと通報ください。
119通報で困ること
子供、酒酔いなどでのいたずら。
軽傷などで、自家用車で対応できる場合は(☎2117)へ問い合わせください。

新地駐在所が新築のため移転

11月7日から3月末まで新地駐在所の新築工事を行います。その間、駐在所が農業後継者センター2階へ移転します。
問合せ先
新地駐在所(☎3103)

県政巡回相談を「利用」ください

県政に対するご意見・要望・苦情などを伺い、県民参加の行政を積極的に推進し、明るい快適な生活をしていただくため、県と町が合同で臨時に巡回相談を行います。
相談は無料で秘密厳守です。
方法は面接・電話いずれでも結構です。
日時 11月10日(水)
午前10時~午後3時
場所 農業後継者センター

「1」利用ください

10月・11月は、農地流動化推進強化月間です。農地の貸し借りについては、産業課または農業委員会(☎2111)へお問い合わせください。

スナップ

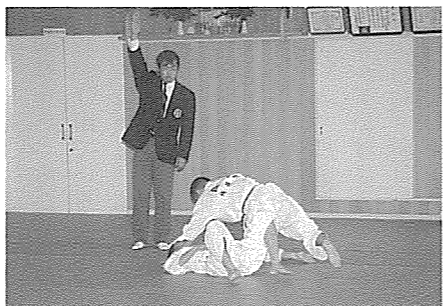


広報にあなたの写真ののっていたら、ご連絡ください。さしあげます。

北相中体連新人総合大会 尚英中が6種目で優勝

北相中体連新人総合大会が10月12日、尚英中など8会場で行われ、尚英中は剣道や卓球など6種目が優勝するなど、各競技で好成績をあげました。

- ▽優勝
剣道(男子)
剣道(女子)
バレーボール(男子)
バレーボール(女子)
卓球(男子)
ソフトテニス(女子)
▽準優勝
柔道(男子)
第3位
ソフトテニス(男子)
サッカー(男子)
バスケットボール(女子)
卓球(女子)
個人
▽卓球(男子単)
優勝 阿部崇宏
準優勝 佐々木栄一
第3位 斎藤 秀
第3位 島 利成
▽卓球(女子単)
優勝 小野雅弘
準優勝 武田健児
第3位 菅野一恵



▲準優勝の尚英中柔道

- ▽優勝
大須賀良子
▽ソフトテニス(男子個人)
吉田 学・伊藤礼二組
▽ソフトテニス(女子単)
阿部美和・寺島恵理子組
第3位
渡辺絵美・加藤友美組
▽剣道(女子個人)
優勝 小野絵美
▽柔道
(軽量級)
優勝 小野雅弘
第3位 大堀 透
(軽中量級)
準優勝 小野慎太郎
(中量級)
準優勝 武田健児
(女子56kg級)
第3位 菅野一恵

第35回相馬・新地地区小学校陸上大会

各小6年生が活躍
第35回相馬・新地地区小学校陸上大会(6年生を対象)が9月24日、町民運動場で行われ、町内各小学校の選手が上位に入りました。

- 男子
▽1000m走
第1位 水戸貴宏(新地小)
第3位 山田浩章(新地小)
▽障害走(80mH)
第1位 目黒 学(福田小)
●女子
▽走り高飛び
第1位 小野千平(新地小)
第2位 林ひとみ(福田小)
第3位 寺島誠也(新地小)
▽400mリレー
第3位 新地小
▽走り高飛び
第2位 野地智美(福田小)
第4位 菅野真由美(新地小)
第5位 菅野真由美(新地小)
▽走り高飛び
第2位 小野千平(新地小)
第3位 三島美代(新地小)
第4位 太田久仁子(福田小)
▽400mリレー
第4位 駒ヶ嶺小
第6位 新地小

Table with 2 columns: Date (11月, 12月) and Activity (Handicraft, Flower, Calligraphy, Karaoke, etc.)

「ご寄付ありがとうございます」

- 教育寄付金へ
目黒寛子さん(小川)より故目黒隆久さんのご遺志として 10万円
●一般寄付金へ
早坂勝信さん(大戸浜)より故早坂勝雄さんのご遺志として 10万円
●地域福祉基金寄付金へ
斎藤スイさん(釣師)より故斎藤二郎さんのご遺志として 20万円
●社会福祉協議会へ
さきわけ地蔵尊建設委員会より 10万円
廣川俊一郎さん(中里)より故廣川みさ子さんのご遺志として 10万円
伊藤憲次さん(釣師)より故伊藤ナミ子さんのご遺志として 5万円
スーパードキチ新地店より 1,573円
飯土井サダユさん(今干干拓)より 雑巾350枚



先生の似顔絵

コンテスト

新地・相馬管内郵便局主催
(新地小入選作品)



金賞4年 菊地宏美さん



銀賞3年 早川優子さん



銀賞3年 坂元はす美さん



銅賞5年 加藤大輝くん



銅賞5年 加藤紋子さん



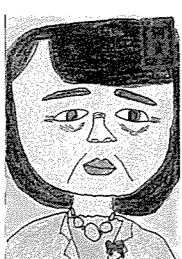
銅賞5年 菅野将司くん



銅賞5年 武沢芳和くん



銅賞5年 小野忠正くん



銅賞3年 森 真奈美さん

第61回独立展初入選 人 坂元郁夫さん(釣師)



独立展に出品した

出品すると、自分の絵を客観

▲入選作品の
「自画像を描く自画像を持つ自画像」

きっかけは、斎藤研さん(女子美術短大教授・埼玉県川越市)の勧めです。昨年から町が開いてくれた『現代の絵画展』で多くの作家と出会ったことも影響しているかもしれません。

独立展で入選したのは「自画像を描く自画像を持つ自画像」という百号の油絵です。この作品は、ポップアート、抽象、具象、シュールレアリスムなどを、一つの絵の中で総合的に試みた作品です。見た瞬間、パッと目が覚めるような絵を、と思いました。

絵は、どんな絵を描いても自分の考え方が出るから、みんな自画像なんです。形、色、筆跡、その一つ一つに、作家としての全生活をこめたつもりです。

十代の後半から画家を志し、世界を見て歩きました。その中で学んだものは、自然の偉大さです。ヨーロッパは絵に

なりませんが、単純なんです。それは人間が一度自然を破壊し、その後人間が造ったものだからです。人間の頭でつくったものはたいしたことはありませんよ。花つてきれいで感動しますよね。それから見たら、絵など遠く及びません。だからこそ人間は、美しいものを描きたいという欲望をもつのでしょうか…。

いつか、ダリの晩年の作品のような絵を描きたいと思っています。何万年もの時代を一枚の絵で表せるような、それでいて未来をも鋭く予感しているような、そんな絵を自分の感性で描いてみたい。今、そう思っています。



吉田美智子さん(藤崎)

♥S47. 1. 1生・血液型 B型・やぎ座
英語が好きだったので、学生のころから航空業務につきだしたと話する吉田さん。夢がかなったけれど、つらくて涙することもあった。でも、お客さんの前では笑顔は忘れないと、ちょっぴり、プロ根性をのぞかせてくれました。

お年寄りを大切にしてくれる人が好き

○お勤めはどちらですか。
☆仙台空港で航空業務をしています。勤めて一年半になりました。

○仕事での失敗談などは。
☆出発時にお客さまに、「いってらっしゃいませ」、到着時は「おつかれさま」とあいさつするのですが、満席の時は、ノドが痛くなって、時々、逆に言うことがあります(笑)。

○休日は何をしていますか。
☆ほとんど休みが平日なので、スポーツクラブに行ったり、水泳やテニスなどです。

○趣味は何ですか。
☆旅行が好きですね。十月には妹と一緒に、文通しているアメリカ・モンタナ州の友達に会ってきました。旅行は私の命の洗濯です。

○理想の男性のタイプは。
☆おもいがあって、お年寄りを大切にしてくれる人。私がおばあちゃん子だったからかな(笑)。

○町に対して要望は。
☆みんなが集まってこれるような、公園と一体化した総合スポーツ場がほしいと思います。

(ありがとうございました)

青少年健全町民
会議意見発表表④



齋藤 亜樹さん
(新地小六年)

父とさつき

ガチャガチャ、父は今日もせんでいばさみを手に外に出て行った。「ねえ。」と声をかけたけど何もしゃべらない。

足を曲げてすわり、さつきの回りをあっちこち見ながら、とび出ている枝を一枝一枝切っている。まるでさつきと大親友になったよう。首をかしげ飛び出していない所まで切らないように切っている。

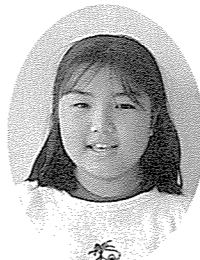
父がせんでいを終わらせ家の中に入ってきた。父の手にはせんでいばさみのさびがついていた。明日もさつきの手入れするんだろうな。

父母を見つめて(7月24日発表から)

母の日に

柱時計が一時をさした。茶の間のカレンダーを見た『母の日』と書いてあった。(あつ、今日は母の日だったんだ)去年は、カーネーションあげて手伝いたなあ。

「ありがとう」と言ってるけとつてくれたなあ。あまり楽しませてあげられなかったなあ。今年の母の日は、手伝いしできなかった。今年こそはプレゼントを渡したかったのに、もう六年なのに、喜んでもらえること一つもできなかった。自分が情けなくなってきた。



小野 由美さん
(新地小六年)

はずかしい

「はい。いつもありがとう」



町の文芸

佐藤 利子
木々を縫い色はなやかな若者の
車の列の走りゆく見ゆ

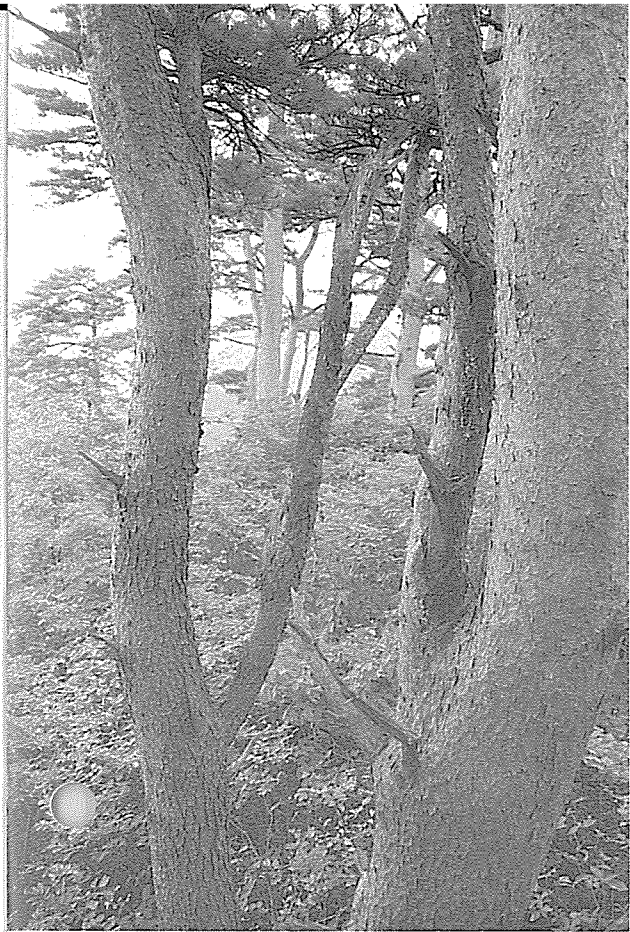
横田 八重子
残飯をあさる黒猫いつしかに
悠然として吾を恐れず

荒 資農夫
咲き初むる庭の木犀さやかなる
風吹き来れば強き香のたつ

池田 サト
友逝きて愈々空しき現世に
独り寂しき老の坂道

水戸 てい子
秋深み遠く離れし友想い
鹿狼の里のリンゴ送りぬ

目黒 美津英
秋の日の暮れゆくときに刻々と
息絶えてゆく母を看取りぬ



五社壇のアカマツ

とき 刻が育てた天然林

十年ほど前になろうかー
松茸採りに行ったときに見た
アカマツを思い出し、五社壇
に登ってみた。

頂上から北側一帯の斜面に、
いわゆるトビ松と言うのであ
ろう。自然実生から百年、二
百年の時間をかけて育まれた
アカマツが、雑木林を抜きん
出て赤い幹を輝かせ、枝を広
げているさまは、堂々として
何者をも寄せ付けない貫録さ
え感じさせる。
太い一本を計測してみると

根廻りは三層を越えており、
高さも二十五層はあるであ
ろう。大小様々のアカマツが尾
根添いに頂上まで広がりを
見ており、どれほどの数があ
るかも定かでないが見事な天
然林を形成している。もうこ
の地方ではなかなかみること
の出来ない貴重な自然である。
現在ここは福田地区愛林会
(四十五人組)の所有である
が、明治三十五年ごろ、「大
字福田協会」が付近一帯の国
有林を払い下げることとし、

先に払い下げの手続きをして
いた伊具郡枝野村(当時)の
人に二百円の断念料を支払っ
て、国から払い下げを受けた
と言うエピソードが残ってい
る。払い下げ面積百三十二畝、
代金五千六百元と言われる。

メモ

松茸を手にし
下山の足かろし
(渭城)

マツ科、マツ属、北海道、
沖繩を除く日本全土に分布す
るクロマツは海岸に多く、ア
カマツは内陸に多いが、海岸
に全くないわけではなく、宮
城県の松島のマツはアカマツ
である。
両種の雑種がアイグロマツ
と呼ばれ、アカマツに近いも
のをアイアカマツ、クロマツ
に近いのをアイグロマツとさ
らに分けることもある。

町内の名木・珍木など
を探しています。ありま
したら、役場企画振興課
(☎2111)へお知ら
せください。
『町の樹々たち』のコー
ナーで紹介いたします。

町長日記

荒 和英

- 9月 21日 議会決算特別委員会、冷害対策陳情、相馬港コースタルリゾート開発委員会
- 22日 議会決算特別委員会
- 24日 議会決算特別委員会
- 27日 議会一般質問
- 28日 本会議、新地・相馬体育大会
- 29日 交通安全ゲートボール大会、水防協議会
- 10月 1日 巨理清掃センター落成式、遊海しんち⁹³写真コンテスト審査会
- 4日 民生委員推せん委員会
- 5日 町民ゲートボール大会
- 6日 相馬地方町村会、相馬地方広域圏議会
- 7日 冷害調査特別委員会
- 8日 土地改良関係陳情、町土地改良区理事会
- 10日 鹿狼マラソン大会
- 12日 土地改良区全国大会(15日まで)
- 17日 相馬地方(新地地区)総合防災訓練
- 18日 農地防犯事業陳情
- 20日 相馬北部土地改良区理事会

今月の納税等

町 民 税 第3期
国 民 金 11月分
水 道 料
第7~15行政区

人口&世帯

10月1日現在()内は前月比	
人 口	9,053人 (+5)
男	4,431人 (+4)
女	4,622人 (+1)
世 帯 数	2,247人 (-2)

こちらら 編集室

▼今月十二日に『伊達サミット』が農村環境改善センターで開かれます。北海道伊達市は、戊辰戦争に敗れた巨理の伊達邦成公とともに家臣が、明治二年から十四年にかけて、九回にわたり二千人以上が移住し、多くの労苦を乗り越えて開拓をすすめて、現在の発展をとげています。▼新地町からも家臣六十七家の半数以上が移住し、伊達市の振興に尽くしました。この縁で姉妹都市・歴史友好都市を結んでいる伊達市、巨理町、山元町、柴田町、新地町の五首長らが一堂に会して「まちづくり」を話し合います。▼私もこの日は、取材する側からされる側に。多数のご出席をお待ちしています。(M・S)

(資源保護のため再生紙を使用しています。)